

ぜんがくねん 1まいにまとまったおたよりに変わってよ！

# しもぎょうとしょうかん 下京図書館だより

なつごう れいわ ねん がつほつこう  
夏号 (令和4年7月発行)

## ていがくねんむ 《低学年向け・よみもの》

『かくれてぱくり』 海野和男/ほか写真

なかむらつねお/ほか写真 しまだやすこ ぶん どうしんしゃ  
中村庸夫/ほか写真 嶋田泰子/文 童心社

みごとに花びらになりきっているハナカマキリは、蜜だとかんちがいをしてきたチョウをおおきなコマでつかまえる。海底では、アンコウが頭についた釣り道具をゆらしてさかなをおびきよせてぱくり。生き物がどんなふうにも身をかくし、えものをねらっているかを紹介しています。



『そら』 神永暁/監修 講談社



空にうかぶ雲にはひつじ雲、わた雲、もつれ雲などたくさん名前がついています。風にも雨にも様々な名前がついています。ぜひ声に出して読んでみてください。日本語のおもしろさを感じることができるでしょう。そして新しい名前を知るとなんだか新しい「空」に出会った気がしてきますよ。

もうすぐ夏休み！たのしいことがたくさん待っているね！なが〜い休みの間にいろいろな本を読んでみよう！  
下京図書館には、ここに紹介した本のほかにもおもしろい本がたくさんあるよ！ぜひ遊びに来てね！

## ちゅうがくねんむ 《中学年向け・よみもの》

『この世界からサイがいなくなってしまう  
アフリカでサイを守る人たち』

みたむらたろう ぶん 学研プラス  
味田村太郎/文 学研プラス

アフリカにいる野生のサイは今、絶滅の危機に直面しています。

それはサイの角が高く売れるため、密猟者があとをたないからです。親の角を奪うために銃を向け、親を守ろうとする子どものサイまでも殺してしまう…。そんな事態に立ち向かう人たちの奮闘記です。



『仕事の歴史図鑑 今まで続いてきたひみつを探る1 暮らしを守る仕事・ささえる仕事』

ほんごろうかすと かんしゅう しゅつぱん  
本郷和人/監修 くもん出版



消防士の前身である火消は、家をたおして火を食い止める活動をしていました。リーダーである組頭は、銭湯や芝居小屋に無料で入れるなどの特典もあり、火消は町のヒーローでした。他にも飛脚や駕籠かき、両替商などの仕事についても紹介しています。これらは現在のどんな仕事になっているのかみてみましょう。

## こうがくねんむ 《高学年向け・よみもの》

『おにごっこ TAG』

伝承遊びを伝える会/著 文溪堂

休み時間や公園で遊ぶ鬼ごっこ。いつの時代に作られた遊びなのか知っていますか。色おにや氷おになど様々な種類がありますね。鬼ごっこは、日本だけではなく世界中にあります。鬼ごっこの奥深さを感じることができる1冊です。



『月別カレンダーで1からわかる！日本の政治』

伊藤賀一/監修 小峰書店

お正月をむかえる1月。日本の政治では、通常国会が開かれます。ここでは予算や法律案について話合います。夏休みがある7月には、3年ごとに参議院議員選挙があります。このように1年の間にどのような政治活動がいつ行われているのかを知ることができます。キミの誕生日はどのような活動をしているのかみてみましょう。



《低学年向け・ものがたり》



『どうしよう』

濱田桂子/作 理論社

朝起きたら髪の毛にねぐせがついていた。もっと自立髪型にしちゃおう！と強気なぼく、恥ずかしいから学校を休もうかな、と弱気なぼく。毎日うまれる「どうしよう」にいろんなぼくがでてくる。



いったいどれがほんとうのぼくなんだろう。

『タヌキの土居くん』

富安陽子/作 大島妙子/画 福音館書店



さんかく山のふもとにある山下小学校の新学期。教室にタヌキがいます！なんと土居くんはタヌキだったのです。なかよく、元気に、しょうきに！が今学期の目標に決まったので土居くんは化けることをやめました。

タヌキの土居くんと体育や音楽の授業をするのは楽しいものです。あれ？次の日学校に行くとき…。

《中学年向け・ものがたり》



『ぼかりの木』

幸田裕子/作 黒須高嶺/絵 学研プラス

ある日勇太はお父さんに怒られ、家を出た。クスノキの前で大泣きをしていると木の中からはだしておかつ頭の女の子が現れた。願い事をかなえてあげると言われ、一人っ子になりたいと伝えたら本当に弟の洋太がいなくなった！



『おとなになるっていうこと』

遠見才希子/作 和歌山静子/絵 童心社



お姉ちゃんはサッカーの合宿の荷物に生理用品を入れていた。生理ってなんだろう。お母さんが体の仕組みについて教えてくれた。お母さんの友達のかおるさんは男の子の体で生まれてきたけれど、今は女性として生きていることを教えてくれた。ぼくは、成長とともに現れる体の変化や大人になることについて少し考えた。

《高学年向け・ものがたり》



『りんごの木を植えて』

大谷美和子/作 白石ゆか/絵 ポプラ社

大好きなおじいちゃんが病気になる。でも治療はしないと。みずほにはその気持ちがわからなかった。「たとえ明日、世界が滅亡しようとも、今日わたしはりんごの木を植える」と言う言葉をおじいちゃんから教えてもらった。その言葉が意味するところは…。



「自分の生き方」をそばで見守る家族の物語です。

『スープとあめだま』

プレイディみかこ/作 中田いくみ/絵 岩崎書店



雪の白。ぼくは、ボランティアに行くと言う姉について行った。シェルターにはたくさんのホームレスが集まっていた。どうしたらいいのわからない、かえりたいと思っていた時、スタッフにスープを運ぶように言われ皆に配った。するとおじさんが声をかけてきた。「きみはいいこだね、はいこれ」ぼくはあめだまをもらった…。

貸出中の時は予約してね！

下京図書館

〈場所〉 下京区新町通松原下る富永町 110-1 下京 修徳ふれあい福祉会館 4階 ☎351-8196

〈開館時間〉 月・水～金曜日 午前9時半～午後7時 土・日曜日・祝日 午前9時半～午後5時 休館日：火曜日

